



令和7年11月15日
第899号

一般財団法人日本遺族会
〒100-0001 東京都千代田区
九段南一丁目六番五号
九段会館テラス四階
電話 03-3261-5521
00160-6-25389
振替 発行人 盛川英治
編集 毎月1回15日発行
定価 1部130円(税込)

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

平和の語り部 国際親善交流

台湾、パラオから招聘

語り部研修を通して意見交換

日本遺族会は、平和の語り部事業を通して、幅広い世代へ戦争の悲惨さ、平和の尊さを考える機会を提供している。終戦80年記念事業として台湾、パラオ共和国から日本人慰霊に尽力した関係者を招聘し、国際親善交流を実施した。招聘者は靖国神社に参拝、千鳥ヶ淵戦没者墓苑秋季慰霊祭に参列し、静岡県御殿場市、浜松市で語り部研修を行った。

本会は台湾、パラオ共和国から5人を招聘し、10月16日から20日の期間で、平和の語り部事業で初めて、語り部研修を通して意見交換し、国際交流を図る取り組みを実施した。

台湾からの招聘者は、高雄市の鳳山紅毛港保安堂の張吉雄主任委員で、

同保安堂には旧日本海軍の第三十八哨戒艇とその艦長高田又男大尉が祀られている。

パラオからは遺骨収集事業等に協力しているナトゥス・ミセアンガウル知事、マイケル・ムトク文化遺産保全局登録官、メイレン・ゴロン國務省国内部門担当官、

マギー・ベレオイペリリユー州第二次世界大戦博物館学芸員の4人を招聘した。

16日に来日した招聘者は、都内ホテルでの歓迎夕食会に出席し、翌17日には、水落敏栄本会会長と揃って靖国神社に昇殿

の招聘に尽力された滝波宏文農林水産副大臣(当時)＝10月17日、九段会館テラスで



意見交換会で挨拶する滝波宏文農林水産副大臣(当時)＝10月17日、九段会館テラスで



地元遺族会の案内で玉穂の忠霊塔を視察＝10月18日、御殿場市で

参拝し、戦没者の冥福を祈った。昇殿参拝後、千鳥ヶ淵戦没者墓苑秋季慰霊祭に参列し、同墓苑に眠る無名戦没者へ哀悼の誠を捧げた。

その後、九段会館テラス本会議室で、台湾からの招聘に尽力された滝

本会関係者 栄えある受賞

秋の叙勲

政府は令和7年秋の叙勲及び褒章受章者を発表

した。栄誉に輝いた本会関係者は次の方々である。

▼桐花大綬章

尾辻 秀久氏(85歳)

日本遺族会名誉顧問・

前会長・元参議院議長、

元遺族会議員協議会会長

昭和15年10月2日 鹿

児島県鹿児島市生まれ

平成元年7月 参議院

比例区当選(以後6期比

例・選挙区)

平成16年9月 厚生労働大臣

平成24年9月 日本遺族会会長

令和4年8月 参議院議長

令和4年8月 参議院議長

令和4年8月 参議院議長

令和4年8月 参議院議長

令和4年8月 参議院議長

令和4年8月 参議院議長

令和4年8月 参議院議長

令和4年8月 参議院議長

令和4年8月 参議院議長

令和4年8月 参議院議長

令和4年8月 参議院議長

令和4年8月 参議院議長

令和4年8月 参議院議長

令和4年8月 参議院議長

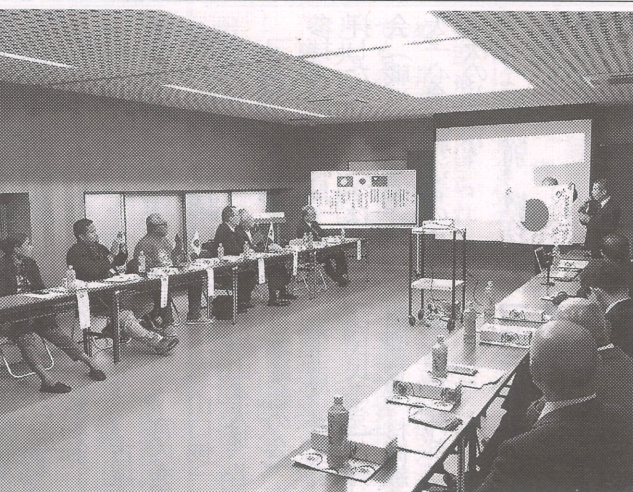
令和4年8月 参議院議長

令和4年8月 参議院議長

令和4年8月 参議院議長

令和4年8月 参議院議長

令和4年8月 参議院議長



かたりべの会浜松の講話を熱心に聞く招聘者＝10月19日、浜松戦争復興記念館で

19日、浜松復興記念館を訪れ展示を見学し、浜松大空襲等について学んだ招聘者は、浜松市遺族会とのかたりべの会浜松の講話者による戦争体験談や記憶継承の取組みに熱心に耳を傾けた。

今回の事業を通して、戦没者遺族と先の大戦の戦域からの招聘者が交流することによって、恒久平和な世界の構築を目指すし、戦争の記憶を次世代へ語り継ぐことの意義や語り部育成の重要性を確認し合うことができた。

来年度は、海外の旧戦域を訪ねて、国際親善交流事業を実施する予定(語り部研修・意見交換会等の詳細は次号に掲載)

声なき声

平和の語り部で朗読劇などを上演する際に、その時代の人物になりきるための重要なアイテムとして、「割烹着」や「モンペ」を着用することがある。昭和初期は、エプロンという洋装をイメージする割烹着が女性の服装としてふさわしいとされていた。一方で、主に農耕などで作業着として用いられたモンペは古臭く、いわゆるダサイとされて不人気だった。うだうだしかし、ある記事によると、画家の藤田嗣治が、軍国主義のファッションとして割烹着は相応しくないと批判し、防空演習にはモンペが適しているとするエッセイを当時の女性雑誌に寄せている。次第に戦局が悪化していくなかで、厚生省(現厚生労働省)によって「モンペ普及運動」として奨励され、空襲時の防空用に女性の着用が義務付けられ国民服となっていくのである。しかし、モンペは戦時中の女性の服という印象が強いが、今ではその着心地の良さ、動きやすい機能性が再評価され、現代風にアレンジしたモンペが若い世代に人気だそう。モンペひとつの歴史から、戦後の人々の暮らしが見えてきて、現在のファッションにつながっていくことは興味深いことである。モンペ以外にも、戦中・戦後の衣食住のトレンドを取り入れて、今の生活と比較する語り部に、子供たちもより関心を示してくれるかもしれない。(M)

謹 哀悼

狩野安氏 日本遺族会元

常務理事、茨城県遺族連

合会前理事長、元参議院

議員。

令和7年9月28日、逝

去された。90歳。告別式・

葬儀は石岡地方斎場で行

われた。喪主は長男平左

衛門岳也氏。

衛門岳也氏。

衛門岳也氏。

衛門岳也氏。

衛門岳也氏。

衛門岳也氏。

衛門岳也氏。

衛門岳也氏。

衛門岳也氏。



11-12月 鳳山紅毛港保管堂(台湾・高雄市)

令和8年版
「靖国」カレンダーを
家庭にかかげましょう

●申し込み方法
維持会費一〇七〇〇円(送料別途)

①「英霊」に込める会
靖国カレンダー業務室二

〒一〇二一〇〇七三

東京都千代田区九段北三一一

靖国神社遊就館内

電話 〇三一一三二六四一四六二〇

FAX 〇三一一三二六四一四六二〇

E-mail: eiei@deluxe.ocn.ne.jp

HP: https://www.eieikokai.com

②別途申込書で、お住まいの「英霊

に込める会都道府県本部」宛。

部数は、一部(一口)から取り扱っ

ております。送料は一三三〇〇円、

二部三五〇円、三部以上は前記、

「都道府県本部」または「靖国カ

レンダー業務室」に、お問い合わせ

下さい。

●振込先
維持会費は、左記宛に送金願います。
郵便局 郵便振替
口座 〇〇一六〇一一七〇四三二
番号 〇〇一六〇一一七〇四三二
口座名 英霊に込める会
靖国カレンダー業務室

英霊の御心を

次の世代に伝えましょう



靖国神社 秋季例大祭を斎行 高市総裁が玉串料を奉納

靖国神社では、秋季例大祭が10月17日から19日にかけて執り行われた。18日の当日祭には天皇陛下より勅使が差し遣わされ、陛下からの御幣帛が奉られ、御祭文が奏上された。また、大祭にあたり、高市早苗新総裁は私費で玉串を納め、衆・参両議長、水落敏栄日本遺族会会長が「真榊」を奉納した。



秋季例大祭で本殿に参向する天皇陛下の勅使
=10月18日靖国神社で(写真提供:靖国神社)

靖国神社秋季例大祭は10月17日、当日祭に先立って、神職、そして祭儀に用いられる諸具すべてを祓り清める「清祓」で始まり、翌18日には「当日祭」が斎行された。

18日午前10時、崇敬者総代など約500人が拝殿と中庭に参列し、大塚海夫宮司が祝詞を奏上した。

10時30分頃には、天皇陛下より遣わされた勅使・十時和孝掌典が随員を従えて本殿に昇殿。天皇陛下より御幣帛を大塚宮司が神前に奉り、勅使が御祭文を奏上し、玉串を奉奠して拝礼した。

勅使退下後には、国学院大学フイエール・コーネル混声合唱団が「鎮魂頌」を奉納したが、期間中の「靖国神社の歌」を奉唱。大塚宮司に続いて水落敏栄本会会長、古庄幸一英霊にこたえる会」会長、神社本庁総務(代理・小佐野正史常務理事)、泉和慶全国護国神社會會長、中山恭子靖国神社崇拝奉賛會會長らが本殿に進み、玉串を奉り、拝礼した。

18日午後1時30分には、瑤子女王陛下がご参拝された。

石破総理、衆・参議長、福岡厚生労働大臣、城内

衆・参議員66人が参拝 議員の参拝者最低水準

10月17日、靖国神社秋季例大祭当日祭に併せ、超党派国会議員でつくる「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」は、自由民主党、日本維新の会、国民民主党、参政党などの衆・参両院議員本会66人(代理26人)が揃って集団参拝し、日本遺族會を代表して水落敏栄會長が共に参拝した。参拝した国会議員のうち4人が副大臣、2人が政務官だった。閣僚の参拝はなかった。議員の参拝者は最低水準となった。

自由民主党新総裁に就任した高市早苗総裁は、例大祭期間中における参拝は見送られたが(集団参拝は代理で参加)同日、新執行部で総務會長に就任した有村治子参議院議員が高市総裁に代わって参拝し、玉串料を納めた。



逢沢會長を先頭に本殿へと向かう「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」=10月17日、靖国神社で

秋季慰霊祭を斎行 秋篠宮皇嗣同妃両殿下御臨席

東京・千代田区の千鳥ヶ淵戦没者墓苑で10月17日、秋篠宮皇嗣同妃両殿下御臨席のもと、秋季慰霊祭がしめやかに執り行われた。

慰霊祭には全国から参集した遺族、同墓苑奉仕会、各陸海空幕僚長、各自衛隊代表部隊、在日駐在特命全權大使らが参列した。

秋篠宮皇嗣同妃両殿下御臨席で挙行された。

開式の辞に次いで、陸上自衛隊中央音楽隊の演奏により国歌斉唱が行われ、献茶の儀、鈴木俊一奉仕會會長の式辞、昭和天皇・上皇陛下御製奉誦及び舞踏と続き、童謡唱歌奉唱では音羽ゆりかご歌を奏唱した。

参拝後の記者会見で、同議連會長の逢沢一郎衆議院議員は「今年は戦後80年、また昭和百年の節目の年。戦争の悲惨さ、平和の尊さを改めて心に刻み、平和な日本を守り抜き、平和な世界を作り上げていくことに力を尽くしたい」と述べた。

みんなで参拝 衆・参両院議員

「みんなで靖国神社に参拝する国会議員」で参拝した議員(太字は一心会(戦没者の遺児)・拡大一心会(戦没者の孫)は次のとおり。

(党派別、敬称略)

議員本人

【自由民主党】逢沢一郎、井上信治、井林辰憲、上野健一郎、大岡敏孝、大串正樹、大西洋平、加藤竜祥、金子恭之、栗原渉、小寺裕雄、坂本竜太郎、新谷正義、鈴木英敏、鈴木貴子、瀬戸隆一、高木啓、田中良生、田村憲久、富樫博之、長坂康正、中野英幸、中村裕之、根本幸典、平井卓也、深澤陽

【有志】福島伸亨

【参議院】

【自由民主党】青山繁晴、磯崎仁彦、いんどう周作、加藤明良、鈴木宗男、滝波宏文、野村哲郎、橋本聖子、福山守、堀井巖、牧野たかお、山谷えり子、山本啓介、山本佐知子、【日本維新の会】青島健太、岡崎太、石平

【参政党】安達悠司、神谷宗幣、櫻井祥子、松田学

【無所属】齊藤健一郎



御拝礼を終えられる秋篠宮皇嗣同妃両殿下
=10月17日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で



墓前で献花する水落敏栄本会会長
=10月17日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で

概算要求額 予算決定は不透明

の部
和り
平語

8月29日、令和8年度政府予算の各官庁の概算要求が締め切られ、財務省は、要求額が122兆円を超え、3年連続で過去最高額であることを公表した。

本会関係では「戦没者の慰霊・記憶の継承」の予算に、最重要項目である「平和の語り部事業」が本年度の1億円から2億6千万円へと増額計上された。しかし、厚生労働省援護担当からは、年末の予算編成に向けた財務省との折衝では、平和の語り部事業の予算大幅増額は極めて厳しい状況にあるという意見も聞かれ、概算要求通りに予算が決定するかは不透明である。

本会は、11月28日に開かれる遺族族議員協議會總會に正副會長、常務理事が出席し、学校からの語り部派遣要請が急増している現状等を伝え、平和の語り部事業の重要性を訴えて予算大幅増額についての理解と支援を求める。

また、12月5日には全国の遺族代表が参集し全国戦没者遺族大会を開催、関係省庁、地元選出自由民主党国会議員に対し、令和8年度予算に本会の要請事項が反映されるよう、本部、支部が一体となって粘り強く陳情運動を展開する。

本会事業参加者の皆様へ

本会の事業に参加するに当たり、得た個人情報(個人情報保護法)の定めにより、厳重に扱います。日本遺族會の個人情報保護方針につきましてはホームページを参照されるか、本会にお問い合わせください。

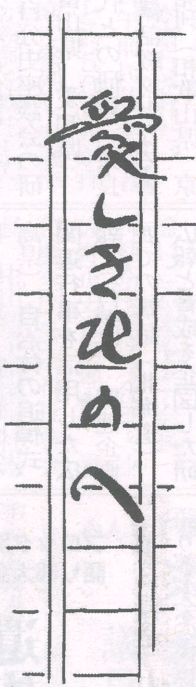
平和の語り部

学校での講話新たな形態

九段中等教育学校で

戦没者遺族の記憶と地域の歴史を伝える遺族会の語り部は全国から依頼を受け実施している。学校からの要望に沿った内容となるよう各支部は創意工夫を重ねている。この程、講話に加え、体験者への質問と学生の学習発表からなる分科会を加えた新たな形態が実施された。遺族会の語り部の貴重性と更なる可能性を示す取組みを紹介したい。

9月20日、27日2週に亘り、靖国神社近くの九段中等教育学校3年生で語り部を実施した。当初より対話型、複数名の派遣の希望があった。学校からの説明を受けた東京都遺族連合会久保局長は、先進モデルと学校では姉妹校の長崎東中学校との連携の調整のもと、東京都に加入、神奈川県、埼玉県、遺族会への協力を求めた。語り部は、先進モデルと東中学校との連携の調整のもと、東京都に加入、神奈川県、埼玉県、遺族会への協力を求めた。



逢いに来て呉れ九段坂

陸軍伍長 草野 鶴松

昭和二十年六月二十日
フィリピン・ルソン島にて戦死
福島県石城郡三和村出身

すでに覚悟は出来ていると思う。なぜか強く明るく生きて呉れ。自分ばかりではない。何萬と言う人がお前と同じ運命に有るのだ。いやもつと悲しい人がたくさん有る。

名譽ある戦死者の妻として、又、大日本帝國軍人の妻としてのほこりを以て、子供を丈夫に育て、呉れ。夫は最大の名譽靖国神社にて永久にお前達二人の前途を護っている。

出来れば俺の骨は故郷の父母のそばにうめて呉れ。

戦死者に對して下さる金は、御前達母子の生活費にあて、呉れ。

順子には出来れば上ノ学校へやつて呉れ。

俺は御前を心から信じている。安心して大君の御爲に死す。

順子には呉れ、悲しい思いをさせるなよ。

お前に對して夫らしい事をなにもしてやらずに逝くのは残念だが許して呉れ。

泣くな嘆くな必ず帰る

桐の小箱に錦着て

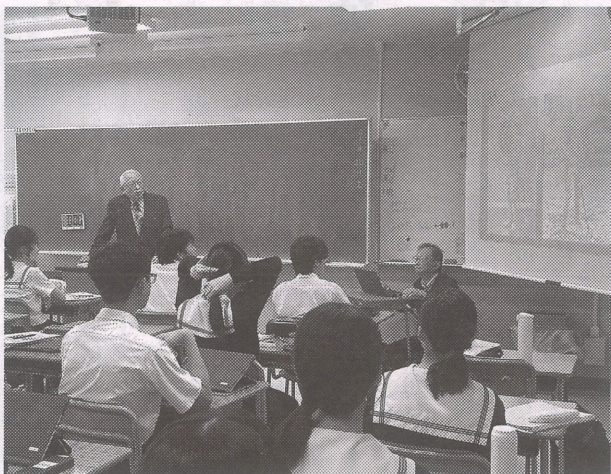
逢いに来て呉れ九段坂

我が妻 サダ子殿

夫より

【令和七年十一月靖国神社頭掲示】

愛しきものへ



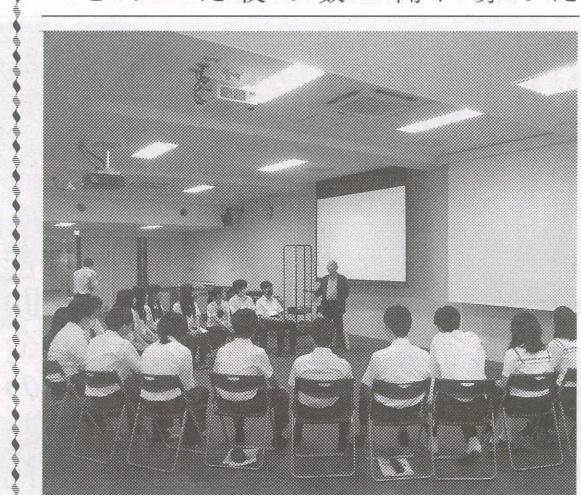
1部講話会で父の出征、遺骨収集の体験を語る遺児
= 9月20日、九段中等教育学校で

して本事業の利用を希望したとのこと。要望を踏まえ、3年生4クラスを2クラスずつに分け実施。内容は講話(クラス全員)、分科会(クラスを2つに分けて)、生徒の学習発表(東京大空襲)、語り部との座談会となった。事務局は冒頭の遺族会の理念、事業の説明、都戦没者霊苑、遺品展示室の紹介をした。

9月20日の講話者は、3組東京都武蔵野市氏、岡野利幸氏、4組埼玉県岡部博明氏、神奈川県本吉氏。27日の講話者は1組東京都岡野利幸氏、能美松江氏、2組埼玉県福居一夫氏、神奈川県本吉氏。講話は約20分で、生徒の理解を深めるため写真を用いたスライド、地図等を資料とした。戦中戦後の暮らし、遺骨収集、東京大空襲の体験など。

グループの生徒が絵画、証言映像、書籍など多様な切り口から調査した東京大空襲を説明。自分事として考え伝えたい気持ちで前面に出された発表に参加遺族は感動した。車座となった分科会では家族への思いに涙し、平和への強い思いを語る遺族に聞き入る生徒たちの様子が伝わった。

実施後、届けられた感想文には「遺族の話を知って戦争が現実にあったと実感できた」、「言葉の波及力に驚いた」、「自身が伝える側に」、「食欲に調べたい」、「後輩にも聞いてほしい」等とあり、同様の相談は本部に複数寄せられており講話者の育成が急務となる。学校からは次年度も利用したいとの連絡を受けた。



2部分科会、車座になって体験者へ質問する生徒
= 9月27日、九段中等教育学校で

平和の語り部事業

各地で多様な取組み

○10月4日(静岡県)

女性部・つじ会合同上京研修会を開催。冒頭、菅澤女性部長は「それぞれの語り部を見つけたら」と呼びかけた。より多くの語り部の育成を企図した本研修会は取組み始めた講話者の実演となった。1組目は、東京都松丸女性部副部長。同氏は本部定期講話会に欠かさず出席し、記

開先の浜松大空襲の話等、一同興味深く聞き入った。岩崎つじ会副会長は「組織の核に戦後世代が参加する時代に、皆で協力し活動しよう」と挨拶を閉じた。

○10月5日(青森県) 語り部事業中央研修会を開催。市町村会長、語り部、女性部、青年部が参加。ペリリュー島遺骨収集に携わり県内遺族に寄り添う横濱慎一氏の講演後、6テーマの座談会を実施。地元紙特集で初めて知った遺構を児童に紹介したい、被団協(原爆)の講演から記憶の継承を意識、引揚、空襲の体験者からは悲愴な実相が語られ、自分史では戦

死公報に涙を見せず働き続けた母の様子が語られ、その他、次世代青年部の遺族会活動への思いが語られた。各グループには青年部も加わり聞き取り。 「遺児其々の体験が語り部」、「追悼式の参列が青年部活動の原点。記憶を聞き取り、繋げるのが役目」との意見に対し、斎藤会長は、「決まった手法はない。今日の座談会を地元に応けてほしい」と締めくくった。

九段短歌

選者 村田 信昌

戦地への供出割り当て宵の田にひもじくらしの母は動く
八十年父の好物知らぬまま木通膳にて秋の命日
故郷の白菊を手に汽笛待ち最後の慰霊に洋上に捧ぐ

千葉県 石橋 嘉子
佐賀県 松尾美津子
これがあの双羅双樹ねと木の肌をなぞりゆく友とふたりで

長崎県 富永八重子

昨今、お米の価格が高止まりしている等々のニュースが流れておりますが、我が国では、戦前から戦後にかけての暫くの間、ひつ迫した国民食糧の確保を目指した緊急措置が次々と打ち出され、厳しい統制と管理が行われたのであります。とくに戦時体制が一段と強化された昭和十六年には、国の総合的な食糧増産計画に基づき、田の作付けは米、畑はさつまいも・麦・玉葱等の食糧作物に限定されたようです。

今月のお歌に「戦地への供出割り当て宵の田に…」とありました。食糧集荷が強制的に行われた供出制度があった時代とは言え、健気に生きられた作者お母様のお姿と様々な辛苦の日々が蘇って来るような実に切ないお歌でした。

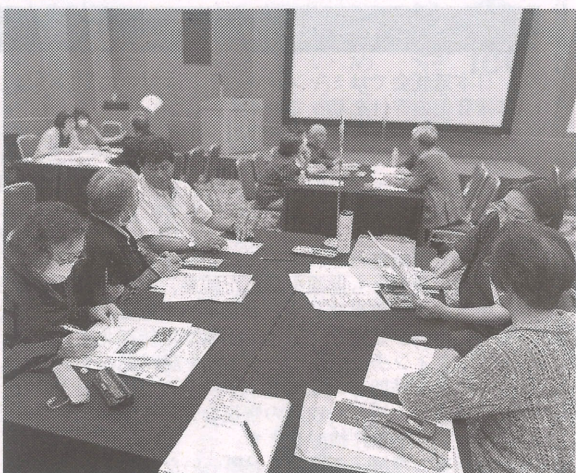
(選者)

地方だより

各支部遺族会で実施された大会等は次の通り
▼新潟県 10月1日 終戦80周年記念事業新潟県戦没者慰霊祭記念講演会(156人)

令和7年度青森県遺族連合会「平和の語り部事業」中央研修会(35人)
▼和歌山県 10月5日 戦後80周年第76回和歌山県戦没者遺族大会(570人)

6日 令和7年度青森県遺族連合会「平和の語り部事業」中央研修会(35人)
▼富山県 10月9日 戦後80年「合掌の塔」慰霊祭(32人)
▼山形県 10月10日 戦後80周年第76回山形県戦没者遺族大会(570人)



自分史アンケートから記憶を聞き取る次世代
= 10月5日、青森県で